

北海道千歳基地へのF15戦闘機の訓練移転に関する意見書

世界的な規模での米軍再編に伴い、日米両政府は10月29日、日米安全保障協議委員会（2プラス2）において、在日米軍再編や自衛隊と米軍の役割分担に関する中間報告に合意した。

その中には、離発着回数が年間7万回を超える、沖縄県の米軍嘉手納基地のF15戦闘機訓練の一部を、航空自衛隊千歳基地に移す計画も含まれていたが、これまでこの計画に対する政府からの十分な説明はされていなかった。

そのため北海道では、今後、情報収集に努めて判断するとしているが、騒音被害や事故発生等が懸念される現状では、「受け入れは大変難しい問題」であるとしている。

よって、政府においては、在日米軍の再編にあたっては、的確な情報を速やかに関係自治体等に提供し、かつ意見を聞く機会を設けるよう努め、千歳基地へのF15戦闘機の訓練移転については、地元の意向を尊重して慎重に対応することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成17年(2005年)12月13日

札幌市議会

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、防衛庁長官

(提出者) 全議員